

# 2023年度の取組実績



あいちロボット産業クラスター推進協議会



# あいちロボット産業クラスター推進協議会

本県のロボット産業を、自動車、航空宇宙に次ぐ、第3の柱として大きく育てていくことを目指し、2014年11月に「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を設立。

ロボットの開発側と利用側が連携し、新たな技術・製品を創出する取組により、ロボット産業の集積を図り、この地域を世界に誇れるロボット産業拠点として発展させていく。



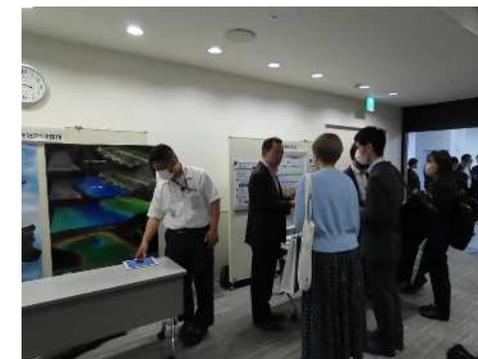
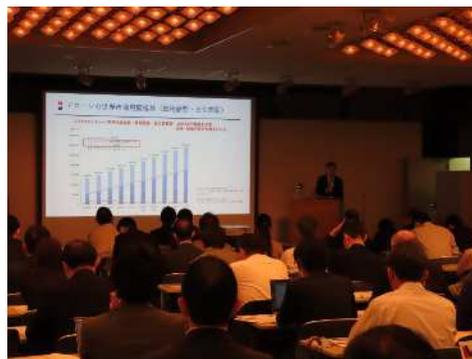
上記3分野において、各ワーキンググループを中心とした**開発者と利用者の協働体制の構築**をベースに、**研究開発と実証の支援、利用者創出と情報発信、人材育成** までの一貫した支援を行う

## (1) 総会の開催

開発者と利用者の  
協働体制の構築

## 企業講演によるロボット業界最新動向の情報提供と会員相互の交流

- 開催日 2023年5月19日
- 参加者 109名
- 講演 「外食厨房、食品工場のロボット活用事例と導入効果」 TechMagic(株) 白木 裕士 氏  
「産業用ドローンのいまとこれから～革新と強靱のマリアージュ～」 (株)プロドローン 戸谷 俊介 氏  
「SIer協会設立5周年の歩みと愛知県高校生ロボットSIリーグへの期待」  
(一社)日本ロボットシステムインテグレーター協会 久保田 和雄 氏
- ポスターセッション  
  - ＜出展社＞ 中部精機(株)、岡谷鋼機(株)、パーソルクロステクノロジー(株)、(有)アペオ技研、(株)ファーストオートメーション、リモートロボティクス(株)、(公財)科学技術交流財団、名古屋市立大学芸術工学研究科、あいち産業科学技術総合センター



## (2) 「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト IV期

研究開発と  
実証の支援

大学等の研究シーズを活用したオープンイノベーションにより、県内主要産業が有する課題を解決し、新技術の開発・実用化や新たなサービスの提供を目指す、産学行政連携の研究開発プロジェクト

- 期間 2022年度～2024年度
- テーマ数 3プロジェクト、9研究開発分野、27研究テーマ
- 規模 1研究テーマにつき、年間3,400万円程度

### ■ 知の拠点あいちとは…

大学等の研究成果をイノベーションにつなげることを目的とする次世代モノづくり技術の創造・発信の拠点



### ● ロボット関連研究テーマ

(◎印は研究リーダー所属機関、○印は事業化リーダー所属機関)

#### 繊維産業に於けるA I 自動検査システムの構築に関する研究開発

- ◎名古屋工業大学
- 国島(株)

【概要】 画像・音響処理技術による検反（織布のキズ検査）自動化及び織機異常検知システムの開発



自動検反装置（完成イメージ）

#### 愛知農業を維持継続するための農作業軽労化汎用機械の開発と普及

- ◎愛知工業大学
- (株)マックシステムズ、個人農家、(株)戸倉トラクター

【概要】 収穫運搬の軽労化へ向けた搬送ロボット開発及び見廻り管理の軽労化へ向けた遠隔管理技術の開発



収穫支援：知能化野菜作業車イメージ

#### スマートファクトリーの完全ワイヤレス化に向けた非接触電力伝送

- ◎豊橋技術科学大学
- (株)近藤製作所

【概要】 スマートファクトリー実現に向けた産業用ロボット及び工場内センサへの基礎送電技術の開発



電力も情報もワイヤレス化

産業用ロボット向けWPTシステム

#### 〈弱いロボット〉概念に基づく学習環境のデザインと社会実装

- ◎豊橋技術科学大学
- (株)ヒミカ、(株)ICD-LAB

【概要】 ロボット自体の能力の不完全さから、相対する子どもの社会性を引き出す〈弱いロボット〉とその学習支援プログラムの開発



開発する〈弱いロボット〉の一例

#### 安心長寿社会に資する認知情動を見守り支える住まいシステム開発

- ◎藤田医科大学
- ジョージ・アンド・ショーン(株)、中部電力(株)

【概要】 表情視線、ライフライン情報を活用した認知情動機能支援システムの開発



スマートメータからの電力・水道の使用情報取得

### (3) 新あいち創造研究開発補助金

研究開発と  
実証の支援

今後の成長が見込まれる分野（ロボットをはじめ、次世代自動車や航空宇宙等）において、企業等が行う研究開発・実証実験を支援

- 補助率 中小企業は2/3以内、大企業及び市町村は1/2以内
- 補助限度額 中小企業及び市町村は1億円以下、大企業は2億円以下

#### 2023年度 実績

ロボット関連分野 採択案件 7件 ※総採択数 73件（採択額 計7億6,000万円）

企業名	所在地	事業の名称
(株)太田廣 〔トライアル枠〕	名古屋市	ロボットハンドの指先になり得る小型触覚センサの研究開発
(株)コンドウ工機	蒲郡市	50Kg可搬ロボガントリーに関する実証実験
(株)トクイテン	名古屋市	AIとロボット技術を活かしたトマト収穫と葉かき・芽かき作業等の自動化における研究開発
フタバ産業(株)	岡崎市	有機農業に資する完全除草を実現する可視光半導体レーザーを使った自律走行型除草ロボットの研究開発
(株)みかわ元気ものがたり 〔トライアル枠〕	新城市	主として農業分野の散布ドローンの研究開発
三菱重工機械システム(株)	蒲郡市	三河港蒲郡地区における車両搬送ロボットに関する実証実験
(株)テラ・ラボ	春日井市	大規模災害発生時に有効な垂直離着陸型ハイブリッド長距離無人航空機の実証実験

## (4) ロボカップジュニア・ジャパンオープンの開催

人材育成

名古屋市が中心となって開催する、19歳以下の子供たちが競うロボカップジュニアの全国大会を開催委員会に参画し推進

- **日程** (一般公開日) 2024年3月23日・24日
- **会場** 名古屋市国際展示場 (ポートメッセなごや)
- **競技参加者数** 約200チーム・約560名 (想定)
- **来場者数** 約8,000名 (想定)
- **主催** ロボカップジュニア・ジャパンオープン2024名古屋大会開催委員会  
 構成団体：(一社)ロボカップジュニア・ジャパン、名古屋市、愛知県、  
 名古屋商工会議所、(一社)中部経済連合会 等  
 事務局： 名古屋市
- **実施競技**

### ■ ロボカップジュニアとは

ロボットの設計製作を通じて次世代のロボカップの担い手を育て、次世代のリーダーとなるための基礎基本を身につけられる協同学習の場を提供し、競争の先にある協調を目指す。

「ジャパンオープン」では、日本各地の地区大会を勝ち上がった選手たちが、世界大会の出場をかけて競う。



1チーム2台ずつの自律型ロボットによるサッカー競技



ロボットが周囲の状況を自ら判断し、様々な障害を乗り越えて被災者を見つける競技



ロボットが規定の時間内でダンスや演技を披露する競技

# (1) 製造・物流等分野ロボット導入実証ワーキンググループ

開発者と利用者の  
協働体制の構築

製造・物流等の現場でのロボット活用の先進事例の紹介や施設の見学を実施  
(座長： 中部大学理工学部AIロボティクス科 教授 梅崎 太造 氏)



## 直近の開催実績

- **第22回 テーマ「AI画像処理の活用」 2023年8月30日 <参加者21名>**
  - ・ 講演「画像認識を中心とした、AI・機械学習技術に関する概要と応用例」 中部大学 服部 公央亮 氏
  - ・ 事例①「電子部品実装におけるAI 活用について」 (株)FUJII 江崎 弘健 氏
  - ・ 事例②「AI 検査が業界内で市民権を得るまでの軌跡について」 (株)東京ウエルズ 横井 嘉彦 氏
- **第23回 テーマ「食品製造業のロボット活用」 2024年2月7日 <参加者29名>**
  - ・ 講演 「社内プロジェクト『ロボット化研究会』を核としたロボット導入の取組」  
(株)おとうふ工房いしかわ 長谷川 周平 氏
  - ・ 食品製造業におけるロボットシステム導入モデルの提案



## サブワーキンググループの設置【新規】

ユーザーが抱える共通課題に応じた製品開発や、企業や大学が有する新技術の磨き上げ  
実用化に向けて、ロボットの開発側・利用側が参画し、継続的に検討を進めるグループを組織・運営する。

実施テーマ	内容
食品製造業におけるロボット導入モデルの検討	現場視察や意見交換等を通じ、特定の工程にターゲットを絞った導入モデルを検討
陶磁器工業におけるロボット導入モデルの検討	ユーザーを対象にした勉強会や課題把握を通じ、自動化やロボット導入の検討を促進
協働ロボットの活用における課題把握	ユーザーが抱える課題を聴取し、製品開発・改良、導入モデルを検討
AI画像処理のロボットでの活用方法の検討と習得	AIを用いた画像処理のスキル習得のため、全3回の講座を実施

## (2) 産業用ロボット導入支援研修会の実施

利用者創出  
と情報発信

人材育成

産業用ロボットの導入を促進するため、導入・活用を検討している中小企業等を対象に、研修会を実施。さらに、個別相談会によりロボットSIer企業等とのマッチングを支援する。

### ● 2023年度 実施コース・目的・内容

**実務担当者向け研修 入門コース【新規】** 3回開催（2023年9月19日・11月7日、2024年1月23日）

内容：産業用ロボットの基本的な知識や工程改善の考え方の講座  
産業用ロボット等の見学（第1回 ㈱バイナスロボットセンター、第2回・3回 ダイドー(㈱名古屋ロボット館)

**実務担当者向け研修 実践コース**（2023年11月15日～2024年2月21日 全10日間の連続講座）

内容：地ならしの必要性と方法、提案依頼書の作成ポイントと実践（グループ演習）、システム設計の考え方、協働ロボットとリスクアセスメント、産業用ロボットの操作実習、ロボットメーカー見学（㈱デンソーウェーブ）、ロボットシステムインテグレータ企業やロボットメーカーとの相談会など

**経営者向けコース【新規】** 1回開催（2023年9月22日）

内容：ロボット導入に成功している経営者による講演・現場見学（愛同工業(株)）、ロボット導入に向けて経営者が知っておくべきこと



(研修講義の様子)



(グループ演習発表の様子)



(ロボット操作実習の様子)

# (3) 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会

人材育成

ロボットシステムインテグレータの人材創出を目的に、全国の高校生チームを対象とする競技会を開催。(略称：高校生ロボットSリーグ)

## ● 競技会までの流れ

参加チームはロボットSier企業やロボットメーカーのサポートを受け、約8か月かけてロボットシステムの構築に取り組み、その成果を披露



## ● 競技課題

参加チームは使用するロボット部門ごとの競技課題に取り組む



## 2023年度(第2回大会) 開催結果

- 開催日 12月9日、10日
- 一般来場者数 4,645人
- 参加校数 14校
- 競技会の結果

賞名	受賞校	部門
最優秀賞	岐阜県立岐阜工業高校	三菱電機
優秀賞	愛知県立愛知総合工科高校	F U J I
優秀賞	栃木県立足利工業高校	デンソーウェーブ
技術賞	愛知県立半田工科高校	デンソーウェーブ
新人賞	愛知産業大学工業高校	F U J I
アイデア賞	愛知県立豊橋工科高校	オープン参加枠
オーディエンス賞	愛知県立半田工科高校	デンソーウェーブ



競技会でのロボット実演



競技会でのプレゼン発表

# (4) サービスロボットの社会実装推進

研究開発と  
実証の支援

利用者創出  
と情報発信

あいちロボットトランスフォーメーション（ARX）と題し、ロボットの導入に知見のある専門家の主導の下、県内におけるロボット導入を検討する施設（ベニュー）とロボットベンダーとのマッチングを通じ、現場の用途に即した実証実験を実施することで、サービスロボットの社会実装を促進。

## ● 実施概要（実施スキーム）



## 事業プロデューサー 石川 勝氏



ロボット分野、コンテンツ技術分野に専門性を持ち、東京大学の産学連携事業や経済産業省のデジタルコンテンツEXPO等、多彩な官民事業を手掛ける。  
2005年愛知万博ではチーフプロデューサー補佐としてロボットプロジェクト、愛・地球広場、極小IC入場券をプロデュース。  
2025年大阪・関西万博では会場運営プロデューサーに就任。

## ● 実施内容

### Category1:課題解決型

課題を有するベニューとロボットベンダーとのマッチングを目的とした実証実験を実施



イオンモール常滑



Hisaya-odori Park



半田病院

【参加ロボット 6種】

- 防犯
- サイネージ
- エンターテインメント

【参加ロボット 7種】

- 園内警備
- インフォメーション・案内
- 屋外清掃

【参加ロボット 10種】

- 院内搬送
- 遠隔診療/投薬説明補助
- 御家族の案内
- 院内案内
- 院内清掃

### Category2:プロジェクト組成型

ロボットベンダー・ベニューが一体となって組成するプロジェクトを選定し、先進的サービスモデルの創出を目的とした実証実験を実施

〈テーマ〉

自動配送ロボットの公道走行によるラストワンマイル配送



【実施者】

- 中電ウイング(株) ○(株)ZMP 他



(半田病院実証実験参加ロボット)



(自動配送ロボットの公道走行実証実験)

## (1) 医療・介護等分野ロボット実用化ワーキンググループ

開発者と利用者の  
協働体制の構築

医療・介護等の現場でのロボット活用の先進事例やユーザーニーズを紹介  
(座長： 国立長寿医療研究センター 理事長 荒井 秀典 氏)



### 直近の開催実績

- **第21回 テーマ「見守り」 2023年9月5日 <参加者77名>**
  - ・ 介護ロボット（見守り）の製品紹介
    - ① 睡眠見守りシステム「みまもり～ふ」テクノホライゾン(株) 間瀬 英男 氏
    - ② 「見守りライフ」トーテックアメニティ(株) 星澤 有紀 氏
    - ③ 次世代予想型見守りシステム「ネオスケア」ノーリツプレジジョン(株) 宝溝 誠治 氏
  - ・ 話題提供①「見守り機器の効果的な活用について」  
社会福祉法人なごや福祉施設協会 川原 めぐみ 氏
  - ・ 話題提供②「開発中の独居高齢者向け健康見守りシステムについて」  
(株)FUJI 清水 聡志 氏
  - ・ 話題提供③「介護・リハビリ支援ロボット活用促進事業の成果について」  
藤田医科大学 土山 和大 氏
  
- **第22回 テーマ「製品開発」 2024年1月17日 <参加者37名>**
  - ・ 話題提供①「経済産業省における福祉機器・介護ロボットの政策動向」  
経済産業省 安川 一代 氏
  - ・ 話題提供②「上肢機能障害者のための装着型ロボット(アクティブギプス)の開発」  
三重大学 矢野 賢一 氏
  - ・ 話題提供③「介護施設向け歩行トレーニングロボット開発と社会実装」  
パナソニック(株) 山田 和範 氏



## (2) あいちサービスロボット実用化支援センター

研究開発と  
実証の支援

利用者創出  
と情報発信

国立長寿医療研究センターと連携し、サービスロボットの開発・実用化を目指すモノづくり企業に対する相談対応や介護施設等とのマッチング支援を行うとともに、施設関係者の見学を受け入れ

- **設置場所** 国立長寿医療研究センター
- **開設日** 2015年8月17日
- **支援内容**
  - ・ 県内企業のロボット展示（16機種）
  - ・ 介護施設や企業のマッチング支援
  - ・ 企業のロボット開発に関する相談支援
  - ・ サービスロボットの先進事例紹介 等



### 2023年度 対応実績（2月末時点）

- **相談件数** 99件
- **見学者数** 65機関 217名



## (3) 介護ロボット出張デモ

研究開発と  
実証の支援利用者創出  
と情報発信

協議会会員が開発した介護ロボットの改良や普及促進のため、医療・介護施設に対してロボットを実演し普及を促進するとともに、使い勝手や改善点など現場のニーズをフィードバックする

- 対象機器

あいちサービスロボット実用化支援センターの展示ロボットのうち、希望するもの

- 出張デモの対象

愛知県及び近隣地域の医療・介護施設

- 出張デモを契機に導入に至ったロボットの事例

ライジング エイドクリップ「ラ・クリップ」

### 2023年度 実施実績

- 実施件数 計3件（愛知県社会福祉協議会「福祉・介護の就職フェア」など）



# (4) 介護・リハビリ支援ロボットの活用促進

研究開発と  
実証の支援

利用者創出  
と情報発信

介護・リハビリ支援ロボットの開発側と利用側の双方に対応する窓口を設置  
専任コーディネータによる助言等を行うとともに、開発側シーズ/利用側ニーズのマッチングを支援



- ① 対象機器：移乗サポートロボット「Hug」 開発側：(株)FUJII 利用側：なごやかハウス福原
- ② 対象機器：見守り介護ソリューション「エルミーゴ」 開発側：(株)NTTデータ 利用側：鶺鴒リハビリテーション病院

## (5) 安全技術開発の支援

研究開発と  
実証の支援

人との接触機会が多いサービスロボットの安全設計についての理解を促進するため、開発者等を対象に、「サービスロボットリスクアセスメントセミナー」をウェブにて公開

### 2023年度 実績

クラスター会員の希望者向けに、昨年度のセミナー動画を視聴公開。2月末時点で視聴企業3社。

### セミナー内容

#### 「有用性評価のための実証実験

～ “生活支援ロボット及びロボットシステムの安全性確保に関するガイドライン” と “エンドポイント” ～

独立行政法人国立高等専門学校機構 豊田工業高等専門学校 校長 /  
国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 名誉教授 山田 陽滋 氏

#### 「リスクアセスメントの概要と安全設計手順」

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 特任研究員 池田 博康 氏

#### 「サービスロボットの安全性」

#### 「機能安全の概要」

#### 「JQAにおけるサービスロボットの安全技術に対する支援の取組」

一般財団法人日本品質保証機構 (JQA) 認証制度開発普及室 主幹 櫛引 豪 氏

#### 「ISO13482における安全性評価」

一般財団法人日本自動車研究所 自動走行研究部ロボット評価グループ 主任研究員 勝田 智也 氏

## (1) 無人飛行ロボット活用ワーキンググループ

開発者と利用者の  
協働体制の構築

ドローン実証実験の報告や、先進事例・国等の取組について情報提供  
(座長： 大同大学 工学部機械システム工学科 講師 橋口 宏衛 氏)



### 直近の開催実績

- 第21回 「レベル4飛行によるドローン配送セミナー」  
2023年9月7日 <参加者73名>
  - ・ 講演 「日本初 レベル 4 飛行の実現と将来に向けた日本郵便の取組」 日本郵便(株) 福井 誠也 氏
  - ・ 講演 「空の産業革命ードローン利活用の現状と今後 (レベル 4 以降の社会実装) ー」  
イームズロボティクス(株) 曾谷 英司 氏
  - ・ 情報提供 県次世代産業室、名古屋鉄道(株) 加地 秀 氏、大同大学 橋口 宏衛 氏
- 第22回 「ドローンビジネスの創出に向けた関連事業者への期待」  
2024年3月4日 <参加者46名>
  - ・ 講演 「「レベル 4」飛行の実現と目視外飛行の今後の可能性」 (株)ACSL 伊藤 康浩 氏
  - ・ 講演 「サプライチェーン〜きっと、それは仲間を指す言葉〜」 VFR(株) 奥村 志築氏
  - ・ 講演 「2023年度愛知県無人飛行ロボット活用促進事業の成果報告」 名古屋鉄道(株) 加地 秀 氏
  - ・ 講演 「サブワーキンググループでのドローンエンジニア人材育成に関する取組について」 大同大学 橋口 宏衛 氏
  - ・ 協議会会員PRタイム



### サブワーキンググループの設置【新規】

ドローンエンジニア人材の育成のため、習得すべき知識等を項目として整理するとともに、その育成手法について検討。

- ・ 実施日：第1回 2023年7月7日、第2回 同8月7日、第3回 同12月1日、第4回 2024年3月13日
- ・ メンバー：大同大学 橋口講師、(株)プロドローン、(株)テラ・ラボ、サイポート(株)、名古屋鉄道(株)  
ユタカドローンスクール、(一社)みかわドローン協会

## (2) ドローン等の実証実験場の提供

研究開発と  
実証の支援

### 県関連施設をロボットの実証フィールドとして提供

#### ● 実証フィールド

#### 2023年度 利用実績 (2月末時点)

- ① 名古屋港南5区 [知多市] … 7社・74回実施 (①②は無人飛行ロボットのみ)
- ② 矢作川浄化センター [西尾市] … 3社・8回実施
- ③ 愛・地球博記念公園 [長久手市] … (2023年度は利用なし)

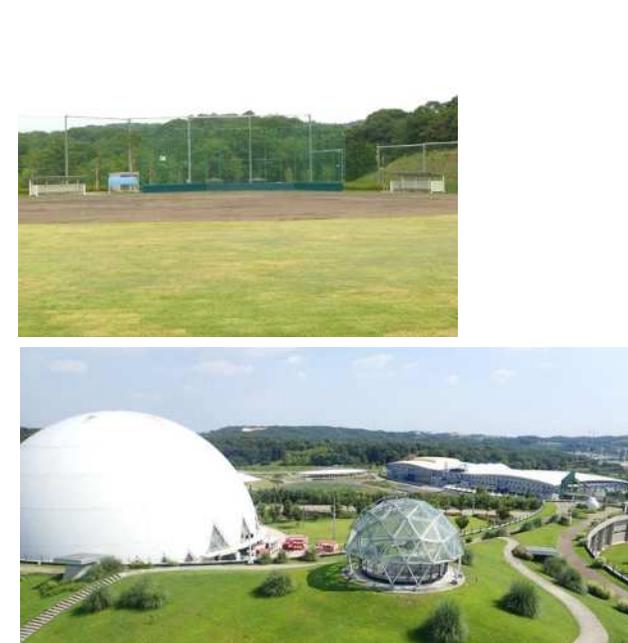
名古屋港南5区



矢作川浄化センター



愛・地球博記念公園



### (3) 無人飛行ロボット（ドローン）の活用促進

研究開発と  
実証の支援

レベル4飛行による新たなビジネスを想定し、実装に向けた課題を明らかにするとともに、必要な技術開発を実証実験により支援。併せて、これまでの成果の横展開のため、人材育成講座を実施。

#### ● 実証実験を通じたビジネスモデルの作成・発信

- ・ビジネスモデル案：「レベル4飛行を見据えた薬局店舗等への医薬品等の配送」  
医薬品卸事業者の配送センターから薬局店舗へのトラック等による医薬品配送を、ドローンが代替するモデルの実証実験を実施。将来的なレベル4飛行での運用を想定し、DID地区の河川上空を飛行。



使用ドローン  
「PF6B-Type3」



使用ドローン  
「PF4B-M」

- ・実証実験で用いる新技術

- ① **全天候型ドローン**：(株)プロドローンの耐候性に優れた機体を使用。
- ② **1対多運航管理システム**：KDDIスマートドローン(株)が開発を進める運行管理システムを活用し、同時に複数のドローンで異なる医療機関へ配送。

- ・実証地域：豊川市

- ・実施・協力者：名古屋鉄道(株)、(株)プロドローン、KDDIスマートドローン(株)、大同大学、(株)グリーンサービス、サーラ物流(株)、豊川市、東三河ドローン・リバー構想推進協議会



1対多運航に対応する運行管理システム  
(イメージ)

#### ● 人材育成講座の開催【新規】

これまでの事業成果の横展開として、活用を担う人材や、製造を担うエンジニア育成を目指し、人材育成講座を開催する。

- ・ドローンを活用したインフラ点検講座（講師：三信建材工業） <座学48名・実技15名>
- ・レベル4飛行制度、一等実地試験の理解促進講座（講師：名古屋鉄道） <座学29名・実技15名>
- ・ドローンエンジニア育成講座（講師：大同大学 橋口講師） <座学・実技 20名>

## (4) あいちモビリティイノベーションプロジェクト①

革新事業創造戦略の枠組みによる第1号の革新プロジェクトとして、「空と道がつながる愛知モデル2030」を優れた提案に採択し、2023年5月に「あいちモビリティイノベーションプロジェクト」を立ち上げ

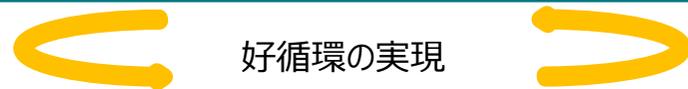
### ● 目的

- ドローン・空飛ぶクルマ・自動運転車が同時に安全に制御され、人やモノの移動に「境界」がなくなった新しいモビリティ社会の構築を図る。
- 新しいモビリティ社会の実現に向けた革新的ビジネスモデルの創出を図り、その社会実装を通じて社会課題（物流クライシス、人の移動の多様化・最適化、災害対応）を解決する。
- 自動車・航空宇宙産業の世界的な集積地である強みを生かし、次世代モビリティの基幹産業化を図る。

### ● プロジェクトの目指す姿

#### 柱1 空と道がつながる新しいモビリティ社会の実現 (需要の創出)

革新的ビジネスモデルの国内外への横展開による需要の拡大



好循環の実現

#### 柱2 次世代空モビリティ産業の基幹産業化 (供給力の強化)

国内外の需要を愛知県内に取り込み、産業拠点としての機能を強化

### ● プロジェクトチームメンバー

(株)プロドローン（提案者）、(株)ジェイテクト  
名古屋鉄道(株)、(株)SkyDrive  
(株)テラ・ラボ、VFR(株)、愛知県

### ■ 革新事業創造戦略とは

民間提案を起点として、社会課題の解決と地域の活性化を図る官民連携プロジェクトの創出に向けた愛知県の取組の枠組みを示し、Aichi-Startup戦略と両輪で愛知発のイノベーションを創出し、国際イノベーション都市への飛躍を図るもの。民間からのイノベーション創出に向けた提案を受け付ける「革新事業創造提案プラットフォーム（愛称：A-idea）」を運営し、優れた提案を採択。ワーキンググループを設置し、具体化を検討する。

## (4) あいちモビリティイノベーションプロジェクト②

研究開発と  
実証の支援

利用者創出  
と情報発信

### あいちモビリティイノベーションプロジェクトの今年度の取組

#### 1 機運醸成に向けたイベントへの出展

(1) JAPAN MOBILITY SHOW 2023 (10/26~11/5) への出展  
〔旧・東京モーターショー〕

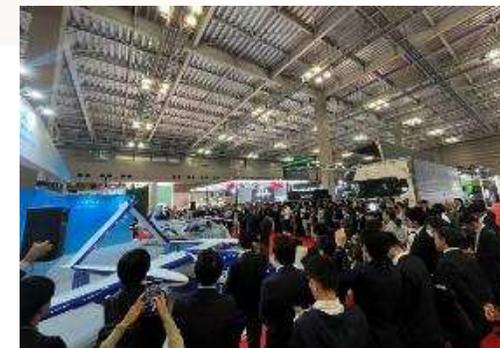
【展示機体】 プロドローン 物流用高ペイロードドローン  
テラ・ラボ 長距離無人航空機  
SkyDrive 空飛ぶクルマ

(2) あいちITSワールド2023 (名古屋モビリティショー同時開催) への出展 (11/23~26)

【展示機体】 プロドローン 物流用高ペイロードドローン

(3) SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIEへの出展 (3/13~3/15)

【展示機体】 プロドローン 物流用高ペイロードドローン  
SkyDrive 空飛ぶクルマ



10/26 報道機関向け  
プレスブリーフィングの様子

#### 2 事業化に向けたF/S調査

テーマ	実証の趣旨	実施場所/時期
医療コンテナへの医療物資の往復輸送	高付加価値品におけるドローン輸送の安全性や品質保持の適正性、往復利用による運用効率化を検証	豊田市 11月15日
河川上空の航路でのドローンの多目的利用	河川上空の航路を利用したドローンの多目的利用の検証	豊川市・新城市 1月31日
災害時のデジタルマップの情報共有及び平時におけるデジタルマップの活用	災害時のデジタルマップの情報共有及び平時におけるデジタルマップの活用方策の検証	名古屋市・春日井市 2月

#### 3 推進プランの策定

プロジェクトの目指す姿や、その実現に向けた取組及びロードマップを取りまとめた推進プランを策定